

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

- 「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
- 「個別最適な学び」「協働的な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
- いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校 目標】

- 校内研究を中心に、学習指導要領の趣旨及び読み解く力の育成に視点を置いた授業改善に取り組む。
- ICT機器を使った授業改善を日常的に進め、「個別最適な学び」「協働的な学び」の可能性を探る。
- 家庭学習推進の取組をブロック内小中連携事業と連動して進める。

【現状と課題】

- 視点1 主体的・対話的で深い学びへの授業改善は途上である。特に児童相互作用による交流学习に課題がある。昨年度までの研究の継続により、課題についての共通認識はできている。
- 視点2 特別な支援を要する児童への支援が不十分である。授業のユニバーサルデザイン化と個別支援の両面に課題がある。
- 視点3 安心感のある学校づくりのため、校内での共通実践の明確化や学級経営に関する情報共有を継続していく。

取組

視点1 学びを実感できる授業づくり	視点2 学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	視点3 子どものために一丸となって 取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内研究では算数科を窓口 to 全学級授業公開を行い、「読み解く力」向上に向けて実証的研究を進める。 ○校内研究推進委員会と従来よりの自信部を統合し、日々の授業の充実に向けた取組をOJT組織を中心に行う。 ○ICT機器を使った授業づくりへの取組を進める。 	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業のユニバーサルデザイン化のために、チェック表など指針を作成し、「一人残らず学習に臨む」授業づくりを進める。 ○校内教育支援委員会とも連動し、個別の支援を要する児童や外国籍児童への支援体制を具体化する。 	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学級経営の方法などを情報交換し、安心して学べる集団作りに向かう。 ○「言葉」への意識を高める指導や取組を進め、穏やかな校風を作る。

その他 取組事項

言葉の力の基礎を養い、視野を広げながら情操を育む手立てとして読書推進に取り組む。校内に読書推進委員会を設け、校内掲示、読書ボランティアの募集、学校図書館を活用した授業づくり等、読書に親しむ環境づくりを進める。

取組の評価

※プランに示してある数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体		校内アンケート「授業は楽しくてわかりやすい」強い肯定を80%に（現在42%）		
視点1	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究では算数科を窓口 to 全学級授業公開を行い、「読み解く力」向上に向けて実証的研究を進める。 ○校内研究推進委員会と従来よりの自信部を統合し、日々の授業の充実に向けた取組をOJT組織を中心に行う。 ○ICT機器を使った授業づくりへの取組を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究の全学級公開の達成及び教職員の授業参観を可能にする体制を整える。 ○家庭学習2時間以上を50%に。（現在23%） ○一人一台のタブレットを使った授業研修会の実施 		
視点2	<ul style="list-style-type: none"> ○授業のユニバーサルデザイン化のために、チェック表など指針を作成し、「一人残らず学習に臨む」授業づくりを進める。 ○校内教育支援委員会とも連動し、個別の支援を要する児童や外国籍児童への支援体制を具体化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業をユニバーサルデザイン化する指針を作成し、支援員も含めた全教職員で共有する。 ○個別の支援を要する児童に対してはIEPを共有し、その支援について一貫性・計画性を持つ。また外国籍児童については年間の指導計画及び年度末のゴールを保護者と共有し、これも計画的に進める。 		
視点3	<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営の方法などを情報交換し、安心して学べる集団作りに向かう。 ○「言葉」への意識を高める指導や取組を進め、穏やかな校風を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営に関わる信頼部の取組を体制の中に組み入れ、PDCAを回していく。 ○行事や日常生活、日々の生活指導の中で「言葉」への意識を育むことを全教職員が意識する。 		
その他	<p>言葉の力の基礎を養い、視野を広げながら情操を育む手立てとして読書推進に取り組む。校内に読書推進委員会を設け、校内掲示、読書ボランティアの募集、学校図書館を活用した授業づくり等、読書に親しむ環境づくりを進める。</p>	<p>「信小サポーター」の中で読書ボランティアを組織し、活動を定例化していく。学校図書館を活用した授業の年間計画を策定し、実践につなげる。</p>		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--